



もてなしの心で語る わが街

# えな自慢

えな自慢  
えな景  
53

## 東濃牧場

大パノラマが展開



▲恵那山をはじめ 360 度のパノラマが広がる

### ひとロメモ

春には岩村町方面からの道で桜が満開となり、訪れる人も多い。場内にある「東濃まきば館」には、ソフトクリームやステーキもあり、予約すれば野外でのバーベキューやアイスクリーム手作り体験も可能。同館は、冬期は休業なので要注意。

長島町、岩村町、山岡町にまたがる(株)畜産公社が経営する県営牧場。1973(昭和48)年に開場。標高630㍍から710㍍の高原にあるため、はるかに御嶽山や恵那山、そして中央アルプスを望み、眼下には阿木川ダム湖や岩村町富田地区の田園風景も見ることができる。360度のパノラマが魅力で、ピクニックなどにもお薦めのスポット。牧草地210㍍に、約700頭を飼育する酪農振興の拠点で、主にホルスタイン乳牛の育成や、農家で生まれた和牛の飼育、夏場の放牧などを行っている。



▲東濃牧場には、ホルスタイン乳牛や黒毛和牛が約700頭飼育されている

## いわむら城址薪能

老松を背景に幽玄の世界

えな自慢  
えな祭  
54



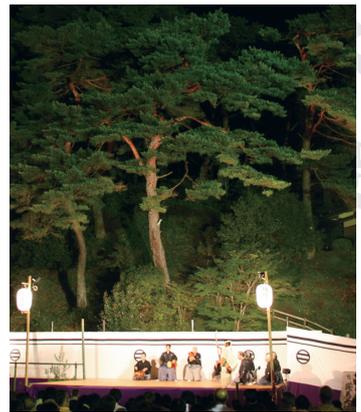
▲日本の伝統芸能の醍醐味が味わえる薪能

### ひとロメモ

最近発見された古文書によれば、神輿渡御行列(岩村町秋祭り行事)で、みこしの停泊中に藩主邸前で能狂言が催された記載がある。またその際には、藩主から与えられた袴(武士の礼服)も使われていたとされる。

岩村城の永い歴史を見守ってきた老松を背景に、かがり火を焚き、自然景観を生かした特設舞台で開催される野外能。薪能が開催される会場は、かつて岩村藩の藩主邸があった場所で、1985(昭和60)年、岩村城の築城800年を記念して、地元有志が初めて開催したもの。近年になって、この会場で江戸時代の藩主が実際に能を鑑賞していたとする古文書が発見された。月の光と薪の薄明かりの中で上演される幽玄の世界は、何とも言えない趣があり、日本の伝統芸能の醍醐味を存分に味わうことができる。

ことしの薪能は、8月27日(土)に開催される予定。



▲薪能は老松を背景に設置された特設舞台で開催される

次号は8月15日号  
発行日は8月15日(月)です

広報えな No.156  
2011年(平成23年)  
8月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係  
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』8月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.4円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム(登録用QRコード)  
市WEB版文字放送システム(閲覧用QRコード)▶

☎問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。